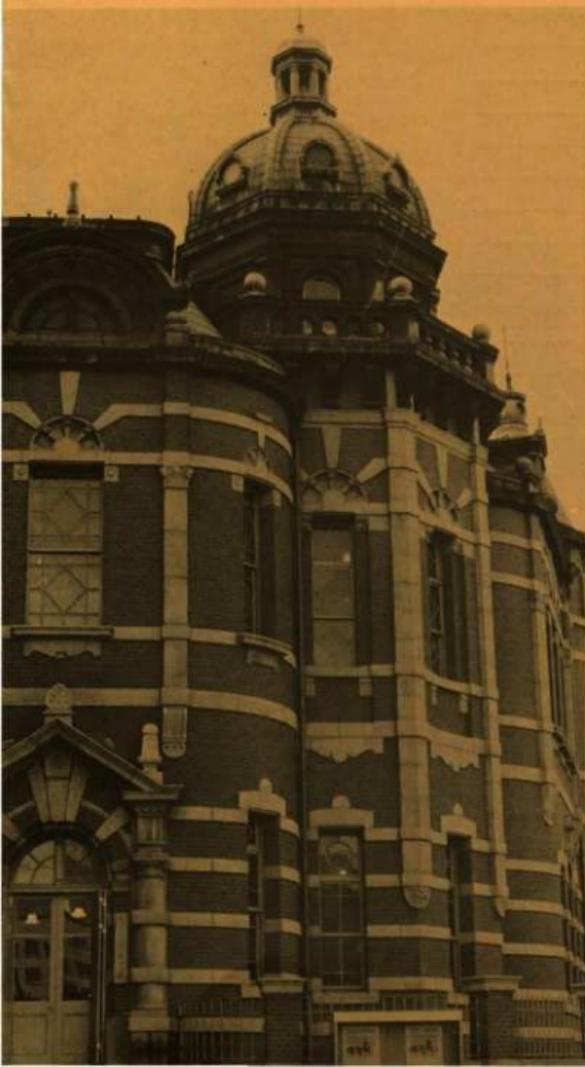


福岡市立歴史資料館

年報

No. 9 昭和55(1980)年度



昭和56年(1981)刊

目 次

序	1
55年度の資料館の活動	2
1 展 示	2
(1)常設展示	2
(2)企画展示	3
2 資料収集	5
(1)購入資料	5
(2)寄贈資料	6
(3)寄託資料	6
(4)贈上資料	6
(5)資料の復元補強・補修	6
(6)複製品製作	7
(7)スライド製作	7
3 調査研究および資料整理	8
(1)常設展示改定のための調査研究	8
(2)収蔵資料に関する調査研究	8
(3)歴史資料保存整備専門調査	8
4 普及活動	8
(1)刊行物	8
(2)資料の利用・貸出	9
歴史資料館協議会	9
入館者の動向	10
施設管理業務の概要	11
1 施設管理業務の委託概況	11
2 施設の整備・補修概況	12
歴史資料館に関するアンケート調査	12
職員の調査・研修	13
昭和55年度予算	14
図 書	15

序

このたび、福岡市立歴史資料館より年報第9号を刊行することになりました。

開館9年目の高齢の歩みも、種々の施設条件の不備な面を克服しながら、市民各位はもとより広範な内外の利用者各位より望外な評価をいただくなどいきさかの進歩があるように感ぜられる半面、常設展示が利用者になおいっそう学習の意欲を刺激し、ねらいを明確に意識付けるよう不断の工夫を行うこと、考古資料以外の書籍・文書、民俗資料収集の増加に伴い、不足が予見される保管空間の確保に努め、不斷の収集を行うこと、収藏史資料が即座に公開できるよう的確な分類基準によって不斷の整理を行うこと、市民、教育関係者や教育諸機関相互の緊密な連携・協力に努め、不斷の情報交換、資料提供を効果的に行うことなどが主要な継続的課題と思われます。

市民各位をはじめ学識経験者および歴史資料館協議会その他の機関各位におかれましては、今後とも信田の御指導と御協力をお願い申し上げます。

昭和56年6月1日

教育長 西津茂美

福岡市立歴史資料館では、55年度の主要事業として、常設展示が利用者にいっそう親しみをもって理解できるようにするために、ほぼ全面的な改定を骨子とする2ヵ年計画を策定した。改定の主なねらいは、見学の客体基準を従来の高校生徒より小学校高学年、中学校低学年生徒向けに改訂して、しかも史料の質的水準を従来よりも低下することなく、さらに充実して一般成人の見学にも役立つようにすることにあった。この計画策定にあたっては、歴史資料館協議会のほかに7人の小・中学校社会科研究会所属の教員各位で構成する常設展示改定懇話会を新たに設け、展示の現状と改定案について意見を交えながら企画の万全を期した。改定実施第1年次の本年度は、時代の特質とその変遷を示す「先史・歴史時代の変遷」、食糧の獲得、衣服と装身具、住居と墓葬、生活・生産用具の製作、使用と変遷を示す「先史・歴史時代の生活と技術」の二つの主題に基づいて第1、第2展示室の品目替えを行い、また、企画展示は、国指定重要無形民俗文化財の博多祇園山笠にちなんだ江戸時代の山笠絵師三吉家の系譜と歷代画工の作品を中心とする第7回展並びに博多区吉原の深見铸造所で製作を試みられた鋼鐵の铸造実験版を開催した。このほか、54年度より國立、私立大学教官・助手・大学院生、地方史研究者、美術館学部員、文化部文化専門職員各位の大変な御協力のもとに、総合実地してきた市民所蔵の歴史資料保存整備専門調査、当館所蔵の福岡藩国学者育柳種信の書跡・文書調査・整理など。これら遺産の歴史的評価を、市民へ還元するのに欠かせない基本的な仕事の一端を果たし得ましたことは、ひとえに上記関係者各位の並々ならぬ御尽力に負うところが大きく、改めて感謝申し上げるとともに御同慶のいたりに存じます。

なおまた、56年2月25日の中国社会科学院考古・古代史学者代表団長王仲殊（考古研究所副所長）、團副長林甘泉（歴史研究所副所長）、先秦・宋・遼・金・元・清史研究員の方々をはじめ、多くの内外関係者の訪館は、大変の目的、知見を親しく語り合い、共に新たな教示、示唆を得るばかりではなく、将来の友好の締結、ないし深化をはかるためにも有意義な結果をもたらすものだと信じます。私どもは、こうした日々の語らいを大切にし、用意周到かつ能動的な接遇にいっそ意を注ぐようにしたいと存しております。

当館運営の目的は、市民が自ら、先人の個別的、協同的な営みとその所産の物質的、精神的文化を、歴史的な遺物、その他の教材を通じて学び、新たな郷土の自治、連帯、文化創造の意識をはぐくみ、あるいは実践能力をたかめてゆくのに役立つ、生涯学習の一環施設として機能することにあります。この目的の成否を左右する要因は、館員一同が教育諸条件の整備内容・方法に対して熱意をこめて研鑽に熱む一貫した態勢の構築如何に掛かっています。私どもは、このことをいつも念頭において、目的の達成に一致してあたるよう努めなければなりません。

市民各位をはじめ研究者各位には、何卒、今後ともさらに関しくも心温まる御べんたつと御支援をお願い申し上げます。

昭和56年6月1日

館長石橋博

55年度の資料館の活動

1 展示

(1) 常設展示

常設展示は、開館以来、展示の基本と展示方法に大きな変更はなく、資料の入れ替えにとどまっていた。

展示の基調は「福岡平野は玄界灘に面し、はるか中国や朝鮮などの東アジアの国々と海路をもって結びつけられている。この地理的環境が古くからわが國におけるこの地方の歴史的役割を性格づけ、それは大陸文化流入の門戸といえるものであった。展示品はこの主旨を尊重してならべられ、あわせて当時の生活や文化の流れが理解できるように配慮されている。」(開館時のパンフレット)という言葉に示されている。展示は(1)先土器・縄文時代、(2)弥生時代、(3)古墳時代、(4)大太宰府と鴻臚館、(5)対外貿易(陶磁器)、(6)郷土の先学者の6部門にわけられ、出土品(考古資料)を中心にして配列されていた。展示の対象については「見学者は学童から研究者までの広範囲であるが、高校生を基準においている」(年報第1、5ページ)とされた。

しかしながら、直接的な批判はきかれなかったにしても、観覧者に十分理解しうる展示であったとはいがたい。とくに入館者の30%以上をしめる小中学生(その95%以上は市内・市近郊在住者で、市内在住入館者総数の50%以上が彼らである)にとっては、展示内容の理解も、展示をとおして想像をめぐらすことも困難であったように見受けられた。なお展示の基準にした高校生は入館者総数の4%前後にすぎない。

これは、展示基調を表現する部門のわけ方と展示方法に問題があったのであろう。展示資料それ自身に対して見学者がまずいだく「これはなにか」という間に応じ難く、展示品相互の関連をつかみにくく展示であったことは否定できない。その最大の原因是、展示の展開や資料の扱い・配列が、専門的枠組に規制されすぎていた点にあろう。

こうした反省と開館以来のいささかの経験にもとづいて、常設展示の見直しをはじめたのは53年度からであり、55・56両年度に全面改定の実施を決定したので

ある。この決定にあたっては、常設展示こそ館活動の基本であるという認識と、特設展・企画展に力を注いできたことへの反省があったことを付言しておきたい。

今回の改定の最大の目的は、わかりやすい展示ではなく、見学者の想像力を刺激する展示を作ることである。だれがみても容易にわかる展示は博物館展示ではない。新らな驚きと理解と疑問を生み、展示されていない部分にまで想像をひろげ、人々の生活に根づいた郷土の歴史を日本全体・東アジア世界の中でみつめるような展示を作ることを目指した。

そのためには、専門研究に立脚した上で、見学者がそれにおしつぶされない配慮が必要である。考古学・歴史学の研究成果・定説を、生まれのままに、専門的枠組(時代区分、資料の分類・評価)にしたがって、程度を落して通俗的にならべることは排し、専門的研究は展示の土台の中に組みこむようとする。

展示の対象は小中学生におく。これは入館者の割合の面からも要求されるが、彼らが展示にもっとも敏感に反応するからであり、博物館の利用を早くから生活の中にとり入れてほしいからである。また小中学生にとって興味をもてる展示は、大人にも接しやすいであろうと思われる(この点は今後の検証が必要ではあるが)。一方、個別の資料に対する明確な関心・目的を市民や専門家は、その自発性に任せておいてよい(展示以外の形で資料に接してもらう方法はいくらでもある)。なお、当館においては、展示品の撮影や写生等を、入館者に対して制限すべき理由はない。

以上のような意図のもとに、展示基調は從来のそれを踏襲して、(1)原始・古代の人々の生活、(2)対外交渉の門戸としての郷土の歴史の2点におき、次のような展示部門を設定し(次ページの表)、相互の関連をはかりながら展示を設計した。

この細別部門のうち、あるものは恒常に展示するが、またあるものは一定期間ごとに展示替えして、全体に変化をもたせてゆく。展示の配置は図のようにす

部 門	部 門 細 別	内 容
I 時代の変遷	1 旧石器・縄文時代 2 弥生時代 3 古墳時代	各時代の特徴的な出土品により、各時代の特質と時代区分の大要を示す。(奈良時代以降は、スペースと資料の制約等のために展示しない)
II 生活と労働と技術	1 食料の獲得 ①狩猟 ②漁撈 ③採集 ④畠作 (5) 塩 (6) 水 2 衣服と装身具 ①衣服と布 ②装身具 3 住居と集落 4 技術 (1)石器 (2)土器 (3)木器 (4)金属器 (5)その他	この部門では、原始・古代の資料により、衣・食・住にかかわる人間の活動を示す。 1で食料獲得のさまざまな方法を示し、東アジア世界との関連における農作の開始が、日本文化形成の出発であったことを示す。①・③は縄文時代、②は縄文・弥生時代、④は古墳時代以降の資料により展示。(6)はI-3やII-2-(3)と一括する。 ①の資料は不十分だが、「編む」「織る」の技術を中心とする。②では使うことの社会的意味を示す。Ⅲ-1・2と関連づける。縄文～古墳時代資料を中心にする。 弥生・古墳時代を中心にして、住居とそこでの生活、集落のあり方を示す。 生活・労働用具の製作、使用方法を示す。上記各部門に関連づける。用具の材質・製作・使用方法の変遷を示す。当面は金属器とくに弥生時代の青銅器に関する展示とする。
III 墓と祭りと信仰	1 墓 (1)弥生の墓 (2)古墳 2 祭り 3 仏教	古くは、墓が社会関係を反映しており、墓をとおして社会関係の変化をしりうることを示す。Ⅲ-2、IV-4と関連づける。 墓地祭祀、青銅器祭祀、水田祭祀、井戸祭祀などをとりあげ。原始・古代の生活が、さまざまな祭祀にいろいろとされていたことを示す。Ⅲ-1-(6)、Ⅲ-4-(4)、Ⅲ-1等と関連づける。 古代～中世の仏教を、経塚・瓦経・文書等により示す。IV-6と一括して展示。
IV 博多と対外交渉	1 金印と倭人伝の世界 2 青銅器と鏡 3 外国からもたらされた土器と陶磁器 4 古墳時代の文物交流 5 太宰府と高麗館 6 禅宗 7 元寇 8 博多商人	金印と魏志等の後援記事からみた、弥生～古墳時代の社会と对外交渉。金印の出土事情と江戸時代の金印研究。Ⅲ-1-(3)、Ⅲ-4-(4)、Ⅲ-2・3・4、V等と関連づける。 青銅利器、鏡の流入をとおしてみた弥生～古墳時代の中国・朝鮮との関係。Ⅲ-4-(4)、Ⅲ-1・2、IV-1と関連づける。 無文土器(弥生時代)、陶質土器(古墳時代)、陶磁器(奈良～平安時代)の流入にみる中国・朝鮮との関係。須恵器の発生などを示す。Ⅲ-4-(2)、IV-1～5と関連づける。 横穴式石室の系譜、裝飾古墳、馬具や甲冑の系譜等、朝鮮古墳文化との関係および日本・朝鮮の古代国家間の交渉。Ⅲ-1・2、IV-1～3と関連づける。 太宰府・高麗館の役割と对外交渉。太宰府に関連する官衙、遠隣・遠使等。奈良～平安時代の太宰府の変化。 鎌倉時代の禪宗の導入。Ⅲ-3と一括する。 元寇をめぐる国内・国外の動き。元寇関係遺跡。 室町～江戸時代の博多商人の活動。对外貿易、廻船等。
V 國土の先覚者	1 貝原益軒 2 亀井南冥 3 青柳種信 4 野村望東尼等	江戸時代の学者・文人の生涯と業績。第5展示室のスライドを併用する。

る。

1階の第1・第2展示室の改定は3月2~4日に実施した(写真参照)。2階の展示替えは56年度に行い、それまでは從来のままで、しばらくの間1階と2階の展示の一貫性は中断する。

第2展示室には部門Ⅰを展示し、部門Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ-1~4の基本とする。古墳時代までに限ったのは、スペースと資料の制約のほかに、この三つの時代が、狩猟採集から農耕へ、国家の形成へと大きく歴史がかわり、日本の生活様式の基礎が形成される時代だからである。

第1展示室には部門Ⅱを展示した。ここでは資料の時代順にとらわれずに、細別部門の内容をはっきりさせるように配別した。

部門Ⅰが、歴史をつくりうごかす人間の土台を示すとすれば、部門Ⅲ・Ⅳは歴史とともに多様にひろがってゆく人間活動の、いくつかの侧面を示すものと位置づけることもできよう。Ⅴもそうした観点からみることができる。

部門Ⅲ~Vの細別部門は、展示実施にあたり変更するかもしれない。部門Ⅰ・Ⅱについても、今後、おりにふれて手直ししてゆく必要がある。

なお入館者用パンフレットの改定等には56年度に行う。

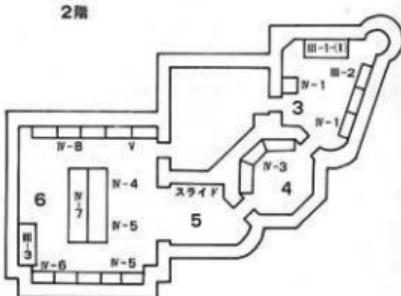
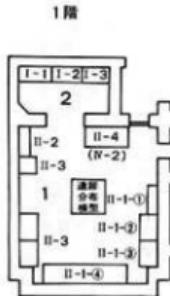
常設展改定懇話会

常設展改定懇話会

常設展改定のために、小中学校の記念新担当教諭を委員に委嘱して、常設展示の現状、改定の方向について

意見を聴取する会合を7月19日に開いた。

〔委員〕安河内和好(市小学校社会科研究会代表、東住吉小学校校長)、中山九十九(美和台小学校教諭)、





高木龍次（堅柏小学校教諭），木村俊明（席田小学校教諭），平林豊（市中学校社会科研究会歴史部長，堅田中学校教頭），井上恵明（席田中学校教諭），中村宏美（住吉中学校教諭）。

この他、常設展示改定とは別に、次のような展示替えを行った。

○金印展示の一部変更 7月20日に実施。金印のみの展示を改め、「後漢書」等の倭国関係記事パネル、青柳種信資料中の金印関係文書を新たに展示。（第3展示室）

○彫錠鑄造実験の展示 7月20日～9月7日。深見鑄造所（博多区古塚）が、5月から7月にかけて彫錠鑄造実験を行った。実験製作のモデルは神戸市桜ヶ丘出土

土4号錠である。この時の型品、鉄型、その他製作用具を展示した。（第1展示室）

(2) 企画展示

博多祇園山笠展（第7回）

7月1日～15日、第6展示室

例年博多祇園山笠の行事にあわせて行っているもの今回も、江戸時代後期の山笠絵師三苦家をテーマに、同家各代による山笠の屏風・絵馬・下絵を展示した。

展示資料

山笠屏風 6曲半双 三苦主清筆 文政3年（鯉川弥弘氏蔵）

山笠絵師下絵 13枚 三苦主清・英之筆 安永9年～文政12年のもの、職尽図 1巻、三苦家相伝書 1紙 文政4年、山笠関係町内役職一覧 1巻 明治初期、山笠番付 2枚 弘化3年、嘉永7年（以上三苦学氏蔵）

山笠絵馬 2枚 三苦主清筆 寛政元年、寛政10年（拾六町熊野神社蔵）

山笠駄馬 1枚 三苦主清筆 享和2年（奈多志式神社蔵）

山笠駄馬 1枚 三苦主清筆 文化3年（宮の浦三所神社蔵）

古代山笠由来 1巻 大正13年（楠田神社蔵）

2 資料収集

(1) 購入資料

今年度購入した資料は下記のとおりである（添は受入番号）。

B80-1 異国襲来祈祷注録（書跡）1巻 7紙を継ぎ 全長305.8cm。第1～第6紙は縦30.5cm、横45.5cm 第7紙は縦30.5cm、横32.8cm。1行15字99行、墨線あり。巻首に「安養寺□□」と朱書。巻末（奥書）に「弘安四年九月廿二日於教興寺為開末代之不審世阿一記之教興寺門山如圓上人筆」とある。天地巻末に余白なく切跡の形跡あり。西大寺僧思圓上人、寂尊上人らが蒙古襲来に際し、異族降伏の祈祷を行ったことを記す。弘安4年（1281年）9月22日に教興寺長老如圓房

河一が書き記したとされる。写本がいくつかあり、本史料は室町後期の写本かと思われる。

B80-2 貝原益軒先生家藏雜集（書跡）64冊（うち竹家雜集3冊） 美濃判 行書草書交り写本。天保頃の写本か。益軒先生家藏雜集61冊（全65冊のうち2・6・11・46巻の4冊が欠ける）。表紙茶色。各冊墨付50～100枚前後。虫喰い多し。各冊巻頭に「不許他借」「平野氏藏書」の朱印。益軒の幅著書、身辺雜事記、藏書目録等と友人弟子の益軒に関する著書類よりなる。○同書總目録・益軒全集・益軒資料に載せられていない資料：損軒文稿、損軒集、損軒文集、易書詩纂、経伝輯要、発己稿、慎思錄拾遺、才養編

一案軒翁手書古語。田原鶯峯紀行、東軒固人求所書目錄略記、筑前國上座部山田村恵蘇八幡宮縁起図説等16点。○書目のみしられ現物が知られていないかったもの:文纂上、二程類語抄、熊野三山遊略記、詩纂、彦山故実等11点。○書名は同じで内容が別のもの:あづま路の記、龜門山宝満宮伝記。題書、私書目録、十月二十八日初出立明抄、君子測等6点。この写本はほとんど全部が貝原家から、ごく一部が高弟竹田家から借用して写したものと思われる。益軒自筆はないが、益軒資料として価値が高い。

B 80-3 黒田斎清長崎警備關係書状(書跡) 1通 紙19.5×横69cm。斎清(1795~1834)が長崎番所を見回り帰国したことを報ずる書状。記名を欠く。9月2日付。文化・文政期のもの。

B 80-4 農業全書(書冊) 11冊 宮崎安貞著 正徳6年 当館はすべて享保版、元明版、文化版を収蔵している。

B 80-5 農家訓(書冊) 1冊 北筑法眼蕃山著 寛政12年序。末尾に「筑州豪院推移軒形持」とある。為政者側の農民に対する教訓書。

B 80-6 博多織物史(書冊) 1冊 帆足小太郎、十時藏 明治29年刊 185頁。博多織の沿革を記したもの。

B 80-7 銅版万国と地方図(地図) 1巻 32.5×119cm。銅版彩色。弘化3年刊。福岡藩の蘭学者永井則が著した地図。メルカルト図法。

B 80-8 筑前國之図(地図) 1枚 54×64cm。植物染料で彩色した木版の筑前国領内15郡の全図。版元・刊行年を欠く。影工博多藤善兵衛とのみ記す。

B 80-9 筑前國之図(地図) 1枚 54.5×64cm。上記地図と同じ木版で船來染料で彩色後刷したもの。明治5~9年の間に刊行と推定。

B 80-10 筑前國之図(地図) 1枚 52.5×60.5cm。B 80-8と同じ版木で黒・朱2色で復刻したもの。幕末。

B 80-11 筑前國王丸氏系図(系図) 3巻 15.1×109cm, 17.8×175.5cm, 17.8×150cm。筑前國怡土庄王丸氏の系図。三巻とも横系図。内容はほぼ同一だが、部分的に相違がみられる。

(2) 寄贈資料

P 80-1 小田部資料 30点 平野国臣關係資料、大隈言

道・望東尼和歌、大三輪長兵衛建言書。小田部秀彦氏寄贈。

P 80-2 田中家文書 121点 馬医として秀吉、黒田家に仕えた田中家の文書。三宅卓爾氏寄贈。

P 80-3 小鳩資料 40点 小田村(現在福岡市西区北崎小田)役場關係文書。明治時代。小鳩三千年氏寄贈。

(3) 寄託資料

D 80-1 銅矛 10口 春日市西方出土。

D 80-2 三角縁神獸鏡片(1面分)、鉄刀片6片 東区名島の前方後円墳出土。

D 80-3 銅劍鋒型 1点 東区八田出土。

D 80-4 尖頭器 6点 米國オレゴン州出土。

D 80-5 陶器(注口鉢、壺) 2点。

D 80-6 銅鋒実驗鑄造品(銅鋒、鋒型、用具)。

D 80-8 新羅焼杯蓋 1点 西区羽根木土採集。

D 80-9 版木 1点 江戸時代。

D 80-10 堀家文書 103点

D 80-11 先土器時代石器 12点 北海道常呂郡安住遺跡採集。

D 80-12 尖頭器 3点 佐賀県多久市採集。

D 80-14・16・22 木下文書 506点。

D 80-15 武内文書

D 80-17 蒙古襲来絵詞(模写) 店津城蔵(研究報告第5集に記載)。

D 80-18 銅戈鋒型 1点 博多区那珂八幡出土、石戈1点、筑紫野市原田出土。

D 80-19 伝蒙古兜頭味集1冊、伝蒙古兜頭7点

D 80-20 昭明鏡1面、珠文鏡1面、石鑑・玉等19点(研究報告第5集に報告)。

D 80-21 伪作三角縁神獸鏡 2面 伝糸島出土。

(4) 僕上資料

有償で借用している資料。9件363点のすべてが考古資料である。五島山古墳出土品、城の原稟寺出土軒丸瓦、博多湾出土海獣葡萄鏡、縄文土器、縄文時代石器等。

(5) 資料の復元補強・補修

(1)青柳種信資料 錦とり絵、満盛院・天満宮關係文書、古文書写し等の裏打ち、補修等。

- (2) 青銅器鋳型考古資料拓本裏打ち。
 (3) 西区宝台遺跡出土丹塗磨研高杯・合付鉢（4点）の
 修復・補強。

(6) 複製品製作

- R 79-1 板付遺跡G-7a地点水田址発見足跡・手跡の
 複製品（各1点）。

R 79-2 大分県宇佐市別府遺跡出土朝鮮式小銅鐸複製
 品および復元品製作。

(7) スライド製作

第5展示室スライド映写装置用に、次のスライドを
 製作した。

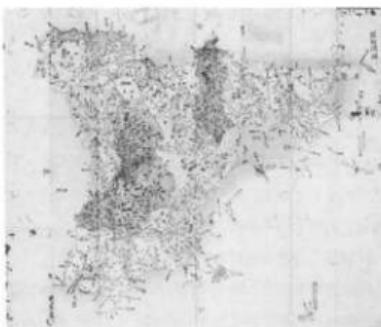
「貝原益軒一その学問と生涯」20コマ、9分。



B 80-1



B 80-2



B 80-8



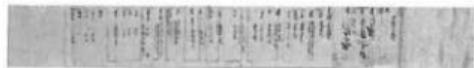
B 80-5



B 80-3



B 80-7



B 80-11

3 調査研究および資料整理

(1) 常設展示改定のための調査研究

常設展示の全面改定のために前年度より継続。今年度は改定計画、展示設計のために、資料に関連した調査をすすめ、11月に改定計画を作成し、以後第1・第2展示室の展示設計を行った。

(2) 収蔵資料に関する調査研究

1 弥生時代青銅器製作に関する調査研究

施が収蔵する弥生時代青銅器、鋳型に関する研究のため、他館、発掘現場等を訪れて調査し、実測図・写真撮影をすすめる。とくに鋳型に関しては春日市・鳥栖市での出土品を調査した。

2 青柳種信の考古資料に関する調査研究

種信資料中の古器物学関係資料のうち、三雲・鏡溝関係資料の調査研究を行う。研究成果は研究報告第5集に報告した。

3 青柳種信資料（文書）の調査・整理（第2次）

保存活用のための詳細な調査をすすめる。川添九大教授の指導で、九大大学院生・文化課職員（国史専門）の手で通年にわたり実施。この中で見出された早急に補修を要する資料は逐次補修している。

なおこのうち、蒙古襲来絵図模本についての研究成果は研究報告第5集に報告した。

4 その他

寄託・寄贈等に入る新規資料については、目録作製写真撮影の基礎的な調査を行っている。

(3) 歴史資料保存整備専門調査

歴史資料保存調査の第4年度。前年度にひきつづき52・53両年度の所在調査で確認された資料のうち専門的調査を要するものおよび所在調査にもれていて専門的調査を要するものについて行う。54・55年度の調査件数は総計150件である。

部門	年	東区	博多区	中央区	南区	西区	計
書跡	54	10件	11	4	4	26	55件
文書	55	11	4	7	7	37	66件
	54		1				1件
美術	55			1	1		2件
	54	8	1			2	11件
民俗	55		5		3	8	16件
							27件

専門調査員 書跡・文書：井上忠（福岡大学教授）、秀村選三（九州大学教授）、川添昭二（九州大学教授）、武野要子（福岡大学教授）、広渡正利（福岡地方史研究連絡協議会副会長）、安川巖（同前、監事）民俗：筑紫荘（福岡県・市文化財保護審議会委員）、佐々木哲哉（西南学院大学講師）、石橋源一郎（博多町人文化連盟会員）、波多江五兵衛（同前）書跡・文書・民俗：高田茂弘（北崎小学校西浦分校教諭）美術：平田寛（九州大学教授）。他に美術室主査田坂大蔵、同館学芸員田鍋勝男、文化課吉良國光。

歴史資料専門調査委員会開催状況

55.4.3 54年度の実施状況、55年度の実施。

55.8.5 現までの調査状況、今後の調査計画。

55.12.11 調査の進捗状況、情報交換。

56.4.2 調査の結果、今後の計画。

4 普及活動

(1) 刊行物

1. 歴史資料館年報第8号（昭和54年度） B5版20ページ、6月1日発行。館関係者・関係機関に配布。
2. 企画展示「博多祇園山笠展」解説パンフレット B5版6ページ、入館者に配布。
3. 福岡市立歴史資料館研究報告第5集 B5版63ページ、3月31日発行。収録論文：筑紫荘 青柳種信

の研究四・竹崎季長歎功絵詞一、後藤直 青柳種信の考古資料一・三雲南小路と井原鏡溝に関する資料一・島格・後藤直 旧下庄郡・夜須郡出土の鏡二面一・山田正修氏資料一

4. 常設展示パンフレット 入館者に配布。外国人には英・中文パンフレットを配布。

(2) 資料の利用・貸出

1. 資料の利用提供

市民・研究者・学生・教師・出版等に対する収蔵資料・館建物の調査・写真撮影・印刷物掲載等の利用提供は79件あった。このうち館建物の外観・内部の撮影等は22件である（報道・出版8件、市民・学生・研究者14件）。収蔵・展示資料については57件である。この内訳は、教師による教材用撮影等が5件、児童・生学生による撮影17件（そのほとんどは小学生の宿題・自由研究のための利用）、学生の卒論等の資料実測3件、研究者の撮影・実測等6件、報道6件、出版9件などである。

2. 資料の貸出し

他館等の展示に収蔵資料を貸出したのは8件である。
九州歴史資料館「青銅の武器展」（55年2月10日～5月10日）青銅器等31点。

大阪市立博物館・北九州市立歴史博物館・名古屋市博物館共催「日韓文化交流展」（4月26日～11月24日）石庭丁等11点。

北九州市立歴史博物館「日韓文化交流展」（7月1日～9月14日）鏡鑄鉢型複製品等2点。

山口県立山口博物館「日本のあけぼの展」（9月26日～11月3日）夜白式土器等7点。

浜松市博物館「鏡・劍・玉一連江地方の古墳文化一展」日光鏡1面。

朝日新聞社主催「邪馬台国への道徳」名古屋・東京・大阪・京都・福岡・熊本会場（8月7日～10月27日）編著等22点。

佐賀県立博物館「九州の文化展」（10月4日～11月3日）小薺鏡等20点。

NHK放送用 望東尼肖像 9月18日。

この他に教材用にスライドの貸出しが2件あった。

歴史資料館協議会

委員名簿

○委員長 ○副委員長

区分	氏名	役職名
学校教育及び社会教育関係者	平島 貴義	福岡県高等学校歴史部会会長（県立筑紫丘高等学校教諭）
	平林 豊	福岡市中学校社会科研究会歴史部会長（福岡市立豊固中学校教諭）
	○安河内和好	福岡市小学校社会科研究会会長代表（福岡市立東住吉小学校校長）
	江頭 光	福岡市社会教育委員会（西日本新聞社都市図部編集委員）
	○鏡山 露	九州歴史資料館館長
	柏木誠之助	福岡市板付公民館長
学識経験者	石橋源一郎	博多を語る会、博多町人文化連盟会員
	井上 忠	福岡大学文学部教授
	岡崎 敬	九州大学文学部教授
	川添 昭二	九州大学文学部教授
	武野 要子	福岡大学商学部教授
	田村 四渡	熊本大学文学部教授
	○筑紫 豊	福岡県・市文化財保護審議会委員
	秀村 遼三	九州大学経済学部教授

広瀬 正利	福岡県地方史研究連絡協議会副会長
森 貞次郎	九州産業大学教養部教授

開催状況

- 第1回 55年5月23日 委員の異動、博多祇園山笠展開催計画、歴史資料保存整備専門調査、常設展の改定に伴う一部措置、卓話「福岡市立歴史資料館所蔵青銅本・蒙古襲来絵詞一」筑紫巻委員長
 第2回 55年9月27日 55年度上半期（4月～9月）実施事業等の概略、第28回全国博物館大会、55年度下半期（10月～3月）事業実施計画、56年度主要事業の計画（案）、卓話「敦煌に旅して」鏡山猛副委員長
 第3回 56年1月23日 常設展の改定、歴史資料保存整備専門調査実施状況、第29回全国博物館大会参加報告、卓話「小学校における歴史的教材について」安河内和好副委員長
 第4回 56年3月26日 55年度事業実施の報告、56年度事業実施予算の概要

入館者の動向 (開館以来の累計 183,436人)

月(開館日数)		4月 (26)	5月 (27)	6月 (23)	7月 (26)	8月 (27)	9月 (25)	10月 (27)	11月 (26)	12月 (23)	1月 (23)	2月 (24)	3月 (24)	合計 (301)	
入館者 総数	一般	男	408	554	364	484	667	460	594	415	244	243	362	496	5,291
	一般	女	240	326	136	371	587	231	265	248	100	139	170	315	3,128
	一般	計	648	880	500	855	1,254	691	859	663	344	382	532	811	8,419
	学生	小	369	206	191	292	552	136	113	140	55	143	216	248	2,661
	学生	中	75	128	59	175	516	48	40	23	27	40	35	88	1,254
	学生	高	63	56	205	66	116	11	32	26	18	24	41	81	739
	学生	大	128	107	48	143	225	98	95	73	36	40	145	323	1,461
	学生	計	635	497	503	676	1,409	293	280	262	136	247	437	740	6,115
	学生	計(a)	1,283	1,377	1,003	1,531	2,663	984	1,139	925	480	629	969	1,551	14,534
	団体 (○は団体数)	一般	① 22	② 140	④ 99	⑥ 253	② 158	⑤ 264	② 95	⑨ 269	② 17	④ 124	① 17	① 17	⑩ 1,475
居住地別	団体	小	⑥ 149	① 13	③ 28	⑥ 350	② 41	③ 31	⑥ 364	⑥ 357			① 29	① 40	⑩ 1,402
	団体	中		② 23			2	① 8							③ 33
	団体	高		10			① 6			① 47		① 6			③ 69
	団体	大	① 27			③ 47	③ 48			② 33	① 16			④ 79	⑩ 250
	団体	計(b)	⑦ 208	⑤ 176	⑦ 127	⑩ 650	⑥ 255	⑧ 303	③ 459	⑩ 706	③ 33	⑤ 130	② 46	⑥ 136	⑩ 3,229
一日平均	合計(a+b)	1,491	1,553	1,130	2,181	2,918	1,287	1,598	1,631	513	759	1,015	1,687	17,763	
	市内	東区	220	133	77	311	265	106	95	123	39	71	114	109	1,663
	市内	博多区	109	87	95	193	347	199	62	60	21	124	69	105	1,471
	市内	中央区	215	163	172	345	179	78	70	55	43	51	86	90	1,547
	市内	南区	101	126	125	146	517	119	251	203	29	50	65	127	1,859
	市内	西区	236	343	275	419	204	186	253	284	89	142	155	187	2,773
	市内	計	881	852	744	1,414	1,512	688	731	725	221	438	489	618	9,313
	九州内	熊内	160	218	177	354	311	178	271	357	109	90	137	174	2,536
	九州外	九州内	69	84	47	68	140	95	83	54	22	62	49	68	841
	海外	九州外	366	394	158	333	946	321	498	483	157	169	326	821	4,972
	海外	外国	15	5	4	12	9	5	15	12	4		14	6	101
	海外	合計	1,491	1,553	1,130	2,181	2,918	1,287	1,598	1,631	513	759	1,015	1,687	17,763
	個人	個人	47.6	51.0	43.6	58.9	98.6	39.4	42.2	35.6	20.9	27.3	40.4	64.6	48.3
	個人+団体	個人+団体	57.3	57.5	49.1	83.9	108.1	51.5	59.2	62.7	22.3	33.0	42.3	70.3	59.0

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (%)
一般入館者の年 令別	16才~19才	6	14	6	9	19	18	10	6	5	3	6	15	117 (1.2)
	20~29	189	293	132	255	445	225	211	229	117	106	147	239	2,588 (26.2)
	30~39	201	237	160	348	384	333	300	185	81	181	137	223	2,770 (28.0)
	40~49	129	180	170	233	314	160	185	234	58	106	115	182	2,066 (20.9)
	50~59	75	121	81	132	140	118	149	120	67	65	92	109	1,269 (12.8)
	60~	70	175	50	131	110	101	99	158	33	45	52	60	1,084 (11.0)
	計	670	1,020	599	1,108	1,412	955	954	932	361	506	549	828	9,894
一般入館者の職業別	農・林・漁業	2	8	2	4	7	2	12	3	2	1	2	1	46 (0.5)
	製造建設業	5	8	16	16	15	7	13	15	13	9	14	10	141 (1.4)
	卸小売サービス業	8	44	21	20	28	19	22	23	12	15	26	23	261 (2.6)
	会社員公務員	339	464	299	446	703	591	453	470	201	298	295	419	4,978 (50.3)
	教員	52	39	39	143	112	38	101	86	21	28	34	80	773 (7.8)
	その他	87	104	59	107	135	96	100	111	45	41	68	100	1,053 (10.6)
	主婦	106	165	112	274	294	111	189	146	47	89	74	153	1,760 (17.8)
	無職	71	188	51	98	118	91	64	78	20	25	36	42	882 (8.9)
	計	670	1,020	599	1,108	1,412	955	954	932	361	506	549	828	9,894

(上記二表は、個人入館者と団体入館者のうちの一般についての内訳である。)

なお団体の地域別内訳(団体数)は次のとおり。

中学生：市内 3

一般：市内 19、県内 5、九州内 5、九州外 8、外国 2

高校生：市内 1、九州外 2

小学校：市内 27、県内 7、九州内 1

大学生：市内 4、九州内 1、九州外 9

施設管理業務の概要

1 施設管理業務の委託概況

(1) 清掃・警備等業務

業務内容 受付応対、館内外の巡回、警備(昼・夜

作点検

間)、施設の清掃、施設の空調機器の操

業者名 ブルシンコー(前年度と同じ)

(2) 施設機器等の保守点検業務

業務名	業者名
自家用電気工作物	㈱九州電気保安協会福岡支部
電話交換設備	富士通興業㈱九州通信営業所
消防設備機器	日本信号㈱九州営業所

盜難火災非常通報設備	鉄電気通信共済会福岡営業所
収蔵庫空調設備	㈱菱熱
展示室等空調制御機器設備	山式計装㈱福岡営業所
暖房設備	㈱巴商会福岡営業所
冷房設備	日立冷機㈱九州営業所

(3) 埋害防除業務 55年11月10日実施 イカリ消毒剤
福岡営業所

2 施設の整備・補修概況

(1) 工事

1) 事務室床張替、2) ポイラー配管改造、3) 電話機増設、4) 展示ケース照明装置改造、5) ポリュームダンパー（風量調節機器）取付

(2) 補修・修理

1) 展示ケース鉛取替、2) 雨漏修理（2階第3展示室）

3) 展示室、1階第2展示室）、4) 守衛室排水管修理、
5) 守衛室エアコン修理、6) 収蔵庫空調用コンデンサー洗浄修理、7) 収蔵庫空調用加湿器取替修理
8) 温湿度計修理、9) スライド映写機修理、10) ポイラバイブつけ替え。

歴史資料館に関するアンケート調査の実施

市民局広報広聴部広聴課の協力により実施。対象は市政モニター100人で、すべて女性、そのほとんどは主婦である。

調査時期 6月26日～7月5日

回収結果 回収数（率）98人（98%）

質問と回答

問1 あなたは、歴史資料館が天神一丁目の東急ホテル前にあることをご存知でしたか。

1 知っていた 70.4%

2 知らなかった 29.6%

SQ1 (問1で1と答えた方に) では、利用されたことがありますか。 N=69

1 ある 43.5%

2 ない 56.5%

SSQ1 (SQ1で1と答えた方に) では、展示資料の数量について、どう思われましたか。 N=30

1 多すぎる 0.0%

2 適当である 56.7%

3 少なすぎる 43.3%
SSQ2 (SQ1で1と答えた方に) では、展示資料の説明文について、どう思われましたか。 N=30

1 理解しにくい点はなかった 70.0%

2 文章がむつかしすぎる 10.0%

3 文章が長すぎる 10.0%

4 専門用語が多すぎる 6.7%

5 その他 3.3%

SSQ3 (SQ1で1と答えた方に) では、展示資料の中で興味をもたれたのはどれですか。 次の中から、3つまであげてください。(M.A.) N=30

1 先土器・縄文コーナー 40.0%

2 弥生コーナー 36.7%

3 古墳コーナー 53.3%

4 太宰府と鶴臚館コーナー 23.3%

5 対外貿易コーナー 33.3%

6 郷土の先学者コーナー 23.3%

7 スライドスクリーン	16.7%	ご存知でしたか。
8 造跡電気表示模型地図	33.3%	1 知っていた 15.3%
9 その他	3.3%	2 知らなかった 84.7%
S S Q 4 (S Q 1で1と答えた方に)では、原始古代(先土器・縄文・弥生・古墳時代、および奈良・平安時代)中心の資料展示について、どう思われましたか。 N=30		問5 あなたは、上記の特設展示でどんなものを企画してほしいと思われますか。具体的に記入してください。
1 適当である	33.3%	内容は多種多様で、特に博多に関するもの(行事、名産等)の企画を希望する声が多かった。
2 中世・近世も展示してほしい	36.7%	問6 あなたは、現在の歴史資料館の資料以外にどんなものを収集、展示してほしいと思われますか。次の内から、あなたのお考えに近いものを2つまであげてください。(M. A.)
3 2以外に、近代も展示してほしい	30.0%	1 対外交渉(中国・朝鮮)の歴史資料 44.9%
4 その他	0.0%	2 博多の変遷過程の歴史資料 55.1%
S S Q 5 (S Q 1で2と答えた方に)では、利用しなかった理由は何ですか。次の内から、2つまであげてください。(M. A.) N=39		3 信仰、祭祀、習俗等の伝承された資料 28.6%
1 展示資料に興味がない	5.1%	4 土地の先学者、先覚者の業績等の資料 36.7%
2 時間的余裕がない	38.5%	5 古い農耕用具、生活用具等 22.4%
3 距離が遠い	28.2%	6 その他 2.0%
4 見たい資料がない	2.6%	問7 あなたは、今後歴史資料館にどんな機能を望まれますか。次の内から、あなたのお考えに近いものを2つまであげてください。(M. A.)
5 なんとなく	46.2%	1 展示資料の解説者の配置 58.2%
6 その他	41.0%	2 歴史や文化財に関する講座や研究会の開催 57.1%
(「機会がなかった」「必要がなかった」「子供連れで行きにくい」という理由が多かった。)		3 館蔵の現在展示していない資料の閲覧提供 36.7%
問2 歴史資料館の休館日は、毎週月曜日となっています。あなたは、このことをご存知でしたか。		4 民間所有の古文書等に関する相談 24.5%
1 知っていた	40.8%	5 その他 2.0%
2 知らなかった	59.2%	問8 歴史資料館、および福岡市の文化行政についてご意見、ご要望があれば、自由に記入してください。
問3 歴史資料館の展示室の広さは、1、2階をあわせ384.5m²(117坪)あります。あなたは、この規模について、どう思われますか。		意見、要望は、数、量とも多かった。
1 広すぎる	1.0%	歴史資料館については、PRと運営方法、文化行政については、文化施設の位置、音楽堂の建設、公民館に対するものが目立った。
2 適当である	56.1%	
3 狹すぎる	28.6%	
4 わからない	14.3%	
問4 歴史資料館では、常設展示のほか、年1回程度特設展示も行っています。あなたは、このことを		

職員の調査・研修

(1) 調査

歴史資料調査 4.19~20菊池市(石橋), 4.20, 28

5.1, 2, 8, 9太宰府(後藤), 5.1前原町(吉良)

6.7吉井町(吉良), 9.1, 2, 15, 16北九州市(後藤)

9.9~13玄海町(吉良), 10.25佐賀市(後藤), 12.21
 下関市(石橋・後藤), 3.9~14東京・京都・倉吉・安
 来(後藤), 3.19唐津市(後藤), 3.24二丈町(後藤)
 3.28~30東京(武野・石橋)
 施設管理運営状況等調査 8.2北九州市(広田), 3.27
 ~28倉敷市(広田)など。

(2) 研修その他

九州博物館協議会総会 5.28~29佐賀市(広田)
 第28回全国博物館大会 10.7~8熊本市(安河内・
 武野・斎藤・広田)
 そのほかに他館開会式・落成式等出席など。

昭和55年度予算

歳入		(単位 千円)	
費目	金額	内 容	
雜 入	3	私用電話通話料	
歳出			
事項	管 理 費	事 業 費	(単位 千円)
費目	金額	内 容	金額
報 訂 金	2,475	資料館協議会委員、嘱託員	—
報 債 費	—		1,839
		複製品等原図作成・資料分類整理補助、資料復元補強原図作成作業補助資料寄贈謝礼、資料復製等指導、原稿・鑑定評価委員・歴史資料専門調査員謝礼	
旅 費			
費用弁償	135	(資料館協議会委員) 日本博物館大会参加、他都市調査	—
普 通	180	日本博物館大会、博物館研修会	300
印 刷 消 耗 品 費	494	一般事務用品、新聞雑誌、消毒用薬品、照通用器具、施設管理用消耗品	2,765
光 熱 水 費	3,115	電気、ガス、水道、燃料	—
食 機 費	73	資料館協議会、来客用	187
修 繕 料	448	展示ケースガラス、電気配線照明灯、借用資料等修理	350
役 務 費	1,172	電話料、郵便料	411
委 託 料	15,592	火災・対人・対物保険料 空調保守、警備、受付、清掃保守、電気、電話機、冷暖房、非常通報機、消防設備保守、堵塞防除等	8,100
自 動 車 借 上 料	—		391
借 握 料	185	資料館協議会会場借上 植木鉢借上	245
工 事 請 負 費	370	展示室風量調整装置取付 収蔵庫クーラー取付	619
備 品 購 入 費	184	図書、除湿器	3,565
諸会議費負担金	39	日本博物館協会 九州博物館協議会 歴史資料保存利用機関連絡協議会	—
投 資 及 出資 金	—		150
計	24,462		20,507
			44,969

図書

1 購入図書

- 和林格爾漢墓壁画 文物出版社
 小田富士雄 九州考古学研究—古墳時代篇一 学生社
 倉田公裕 博物館学 東京堂出版
 田村洋幸 中世日朝貿易の研究 三和書房
 減點部等編 中国古今地名大辞典 台湾商务印书館
 容庚 商周彝器通考(上・下) 2冊 沂古書院
 福岡考古学研究所論集(第四・第五) 2冊 吉川弘文館
 山陽新聞社編 古代吉備國論争(上・下) 2冊 山陽新聞社
 劉沢華他編 中国古代史(上・下) 2冊 人民出版社
 もりきよし編 日本十進分類法新訂 8版 日本国書館
 協会
 太陽コレクション 士農工商(I~IV) 4冊 平凡社
 中華人民共和国地圖集 帝国書院
 芦屋市史編集委員会編 新修芦屋市史ー資料編Iー
 芦屋市役所
 宮田登他編 民俗学文献解題 名著出版
 関正雄 異人その他 言叢社
 侯仁之 歴史地理学的理論と実践 人民出版社
 藤原幹也著 河内における古墳の調査 臨川書店
 北野耕平 河内野中古墳の研究 臨川書店
 平安博物館 日本古代学論集 財團法人古代学協会
 反馬考古資料編 銅鏡 財團法人辰馬考古資料館
 村井康彦他編 中世一心と形 講談社
 稲口隆康編 図説日本文化の歴史 I 小学館
 高嶋四郎他著 標準原色図鑑全集第13巻 保育社
 熊谷幸次郎編 新訂続日本紀索引(上・下) 2冊 文獻出版
 世界考古学事典(上・下) 2冊 平凡社
 布目順郎 養蚕の起源と古代編 雄山閣
 「新・熊本の歴史」編集委員会編 新・熊本の歴史(1・2) 2冊 熊本日日新聞社
 中村浩 考古学ライブラリー5—須恵器一 ニュー・サイエンス社
 第3次沖ノ島学術調査隊編 宗像沖ノ島(I~III) 3冊 宗像大社復興期成会
 古事類苑 32~50巻 19冊 吉川弘文館
 日本書紀全集 2~4・10・16~19巻 8冊 社團法
 人農山漁村文化協会
 金廷鶴編 日絵古代国家の起源 六興出版
 田辺哲夫編著 熊本の上代遺跡 熊本日日新聞社
 日本国書館協会目録委員会編 日本国目録規則・新版予

備版 社團法人日本図書館協会

- 百田米美編 図説筑前(福岡・秋月)の落札 福岡地方史談話会
 文化財虫歟害保存必携 財團法人文化財虫歟害研究所
 書籍・古文書等のむし・かび害保存の知識 財團法人文化財虫歟害研究所
 古代探査ー滝口宏先生古稀記念考古学論集 早稲田大学出版部
 國史大辭典編集委員会編 國史大辭典第2巻 吉川弘文館
 博物館学講座(1・3・4・8巻) 4冊 雄山閣
 濑野精一郎編 九州地方中世編年文書目録ー鎌倉時代篇・南北朝時代篇 2冊 吉川弘文館
 安田喜憲 環境考古学事始 日本放送出版協会
 井上忠他編 黒田三藩分限帳 福岡地方史談話会
 由比章祐 築前西郡史 福岡地方史談話会
 亀井南冥 昭陽全集第5・6巻 2冊 葦書房
 鎌山猛先生古稀記念古文化論叢 鎌山猛先生古稀記念論文集刊行会
 八尋勇 筑前の神々 福岡地方史談話会
 八橋一郎著作集(第1・2巻) 2冊 雄山閣
 考古学と自然科学(1~11号) 11冊 東京大学理学部人類学教室
 史前学雑誌第8~10巻 3冊 小宮山出版
 考古学第10巻(上・下)・第11巻(上・下) 4冊 小宮山出版
 古代を考える(5・6・12・15) 4冊 古代を考える会
 川添昭二編 九州中世史研究 第1輯 文献出版
 賀川光夫 宇佐一大陸文化と日本古代史 吉川弘文館
 江上波夫他編 八世紀の日本と東アジア第1巻平凡社

2 逐次刊行物

月刊考古学ジャーナル(46174~184) ニューサイエンス社
 月刊文化財(199~206号) 第一法規
 日本歴史(第383~391号) 吉川弘文館
 歴史公論(第6巻第4号~第7巻第1号) 雄山閣

3 受贈交換図書

〔福岡県教育委員会〕
 若宮宮田工業団地関係埋蔵文化財調査報告第2集
 若宮宮田工業団地関係埋蔵文化財調査報告第3集
 福岡南バイパス開発埋蔵文化財調査報告第9集総集編
 須次・岡本遺跡 福岡県文化財報告55集

春日御供田区調整事業地内埋蔵文化財調査報告 福岡県文化財報告56集
 羽根戸古墳群 福岡県文化財報告57集
 三雲遺跡 福岡県文化財報告58集
 二丈・浜玉道路関係埋蔵文化財調査報告
 今光遺跡・地余遺跡
 特別史跡太宰府跡 環境整備事業実施報告書Ⅰ
 特別史跡水城跡 昭和54年度史跡環境整備事業実施報告書Ⅱ
 史跡筑前国分寺跡および国分瓦窯跡 環境整備事業実施報告書
 特別史跡大野城跡 環境整備事業実施報告書Ⅲ
 特別史跡大野城跡Ⅳ
 城ヶ谷古墳群
 堂の前遺跡 嘉穂町文化財調査報告書第1集
 石丸遺跡 宗像町文化財調査報告書第4集
 久戸古墳群Ⅱ 宗像町文化財調査報告書第3集
 松ヶ迫遺跡 糸田町文化財調査報告書第1集

〔九州歴史資料館〕
 太宰府史跡 昭和54年度発掘調査概報
 般若寺跡 太宰府史跡昭和54年度発掘調査報別冊
 九州歴史資料館研究論集6
 九州歴史資料館年報 昭和54年度

〔福岡県文化会館〕
 犀川仲津洋郡作手永大庄屋御用日記
 福岡県文化会館郷土資料増加目録第3集
 福岡県古文書等所在確認調査報告書

〔福岡市教育委員会〕
 大悲王院文書
 四箇周辺遺跡調査報告書(3)夫婦塚古墳 福岡市埋文報告51集
 県道大野・二丈線関係埋蔵文化財調査報告Ⅰ 福岡市埋文報告52集
 多々良込田遺跡 福岡市埋文報告53集
 吉武塚原古墳群 福岡市埋文報告54集
 下和白塚原古墳群 福岡市埋文報告55集
 徳永アラタ古墳群(本文編・図版編) 福岡市埋文報告56集
 板付周辺遺跡調査報告書(6) 福岡市埋文報告57集
 有田・小田部第1集 福岡市埋文報告58集
 犀前国福岡城三ノ丸御座屋敷 福岡市埋文報告59集
 千里シビナ遺跡発掘調査概報 福岡市埋文報告60集
 下月隈宮ノ後遺跡 福岡市埋文報告61集

〔福岡市民図書館〕
 福岡藩士分限帳
 舊福岡藩主黒田家略系他1
 部屋住勤・元陪臣・御賤藩士明細書 }複写図書

〔歴史と自然を守る会〕
 ふるさとの自然と歴史(第107~117号) 11冊

〔福岡地方史談話会〕
 福岡地方史談話会会報第19号

〔福岡県文化財資料集刊行会〕
 球前の宿駅一六宿・二十一宿
 大野城跡・西天王寺跡・原山無量寺跡
 筑紫史談叢書
 本県に於ける有栖川宮熾仁親王御事蹟 福岡県史蹟名勝天然紀念物調査報告書第15輯

〔太宰府天満宮〕
 築前國宝満山信仰史の研究
 太宰府・太宰府天満宮史料(巻1~10) 10冊

〔宗像大社〕
 「宗像」二十年の歩み

〔九州大学附属図書館〕
 九州大学附属図書館概要1979

〔九州大学石炭研究資料センター〕
 九州大学石炭研究資料センター

〔九州大学工学部〕
 日本近代建築総覧(九州・沖縄地区)

〔九州大学文学部考古学研究室〕
 新延貝塚
 日本における古鏡発見地名表(九州地方Ⅰ・Ⅱ 中国地方 近畿地方Ⅰ~Ⅲ 東海地方 関東地方 北陸・甲信越地方 東北地方)

〔福岡女子学院短期大学〕
 福岡女子学院短期大学紀要第16号別冊

〔前原町教育委員会〕
 板元古墳群 前原町文化財報告1集
 正憲古墳群 前原町文化財報告2集
 上鍵子遺跡群 前原町文化財報告3集

〔北九州市立歴史博物館〕

北九州市立歴史博物館年報3・4

〔財団法人北九州市教育文化事業団〕

紅梅（A）遺跡 北九州市埋文報告1集
 志徳遺跡 北九州市埋文報告2集
 白岩遺跡 北九州市埋文報告3集
 高巖小学校遺跡 北九州市埋文報告4集
 美東D遺跡 北九州市埋文報告5集
 辻田遺跡 北九州市文化財報告35集
 馬場山遺跡 北九州市文化財報告36集
 茶屋星原遺跡 北九州市文化財報告37集
 勝円B遺跡 北九州市文化財報告38集

〔甘木市教育委員会〕

秋月 秋月城下町伝統的建造物群保存対策調査計画報告書
 告書
 江川 民俗資料緊急調査報告書
 矢ノ竹 寺内ダム民俗資料報告書
 持丸古墳群 甘木市文化財報告1集
 小田集落遺跡 甘木市文化財報告2集
 神藏古墳 甘木市文化財報告3集
 小田茶臼塚古墳 甘木市文化財報告4集
 池の上墳墓群 甘木市文化財報告5集
 鮎原野田遺跡

〔飯塚市教育委員会〕

焼ノ正遺跡 立岩周辺遺跡発掘調査報告書第1集

〔大野城市教育委員会〕

仲島遺跡Ⅰ 大野城市文化財報告3集
 牛頭中通遺跡群 大野城市文化財報告4集
 牛頭平田窯跡—D地点一 大野城市文化財報告5集
 大野市の文化財第12集

〔春日市教育委員会〕

赤井手遺跡 春日市文化財報告6集
 須玖・岡本遺跡

〔筑紫野市教育委員会〕

杉の谷古墳群・カケ塙古墳埋蔵文化財調査報告書 筑
 紫野市文化財報告2・3集
 杉塙庵寺 筑紫野市文化財報告4集

〔直方市教育委員会〕

内ヶ磯窯跡Ⅰ 直方市文化財報告2集

〔久留米市教育委員会〕

筑後国府跡—昭和51・52・53年度発掘調査概報一 久
 留米市文化財報告20集
 東部土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査概報 久留
 米市文化財報告21集
 慈雲山福聚寺所蔵品目録 久留米市文化財報告22集
 筑後国分寺跡—昭和54年度発掘調査概報一 久留米市文
 化財報告23集
 筑後国分寺跡（Ⅰ）—昭和53・54年度発掘調査概報一
 久留米市文化財報告24集
 東部土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査概要

〔行橋市教育委員会〕

椿市鹿寺 行橋市文化財報告
 下神田遺跡調査概報Ⅰ 行橋市文化財報告9集

〔佐賀県教育委員会〕

大門西遺跡 九州横断自動車道開闢埋蔵文化財発掘調
 查報告書（1）
 佐賀県遺跡地図（三神地区・佐城地区）2冊
 柏崎遺跡群 佐賀県文化財報告53集
 下中央遺跡 佐賀県文化財報告54集
 尾崎利田遺跡 佐賀県文化財報告55集
 宝満谷遺跡
 九州横断自動車道開闢埋蔵文化財発掘調査概報2
 柏田遺跡
 屋形原遺跡 上峰村文化財報告2集
 利田柳遺跡Ⅱ区 神埼町文化財報告
 燐仙寺跡 東峰振村文化財報告4集

〔佐賀県立博物館〕

玄界のくじら捕り—西海捕鯨の歴史と民俗—
 美術工芸を見る門戸・九州の文化
 佐賀県立博物館年報第10号

〔佐賀県立九州陶磁文化館〕

九州陶磁展—その展開と継承—

〔多久市立図書館〕

副島家資料目録第1・2集
 多久家文書目録第1～4集
 鴨打家資料目録

〔長崎県教育委員会〕

ケイマンゴー遺跡 長崎県文化財報告52集

〔福江市教育委員会〕

白浜貝塚 福江市文化財報告 2集

〔大村市教育委員会〕

大村市立史料館所蔵史料目録

〔大瀬戸町教育委員会〕

大瀬戸町石鍋製作所遺跡 大瀬戸町文化財報告 1集

〔長崎県立美術博物館〕

三川内・現川・長与三彩焼

長崎県立美術博物館収蔵資料目録 4

長崎県立美術博物館年報—昭和54年度—

〔長崎市立博物館〕

長崎市立博物館年報第20号

〔玉名市教育委員会〕

史跡大坊古墳保存工事報告書 1979

〔宇土市教育委員会〕

宇土市史研究 初刊号

〔熊本県立美術館〕

熊本県立美術館年報—昭和54年度—

〔熊本市立熊本博物館〕

熊本博物館年報第3号

〔山鹿市立博物館〕

城・下原遺跡 山鹿市立博物館調査報告第1集

〔熊本大学文学部考古学研究室〕

馬毛島埋葬址 研究室活動報告 6

タチバナ遺跡(2) 研究室活動報告 7

塩井社遺跡 研究室活動報告 8

〔大分県教育委員会〕

大分遺跡 大分県文化財報告48集

宇佐市川部・高森地区遺跡緊急発掘調査概要Ⅱ

萩合地の遺跡Ⅳ

岩戸遺跡発掘調査概報

伐株山城跡緊急発掘調査概要Ⅰ

吹上遺跡Ⅰ

〔佐伯市教育委員会〕

宝劍山古墳

〔臼杵市教育委員会〕

臼杵石仏群地域遺跡Ⅳ—昭和54年度発掘調査概報—

〔大野町中央公民館〕

大野原の遺跡

〔宮崎県総合博物館〕

研究紀要第5輯—昭和54年度—

宮崎県総合博物館年報第9号—昭和54年度—

特別展「日向のやきもの」

〔読谷村立歴史民俗資料館〕

読谷村立歴史民俗資料館年報第4号

木綿原 読谷村文化財調査報告第5集

〔山口県教育委員会〕

白石古墳群 山口県埋文報告52集

下右田遺跡—第4次調査概報・総括— 山口県埋文報告53集

末原遺跡 山口県埋文報告54集

萩燒古窯 4 山口県埋文報告55集

特別展「日本のあけぼの」

〔山口市教育委員会〕

大内氏館跡Ⅰ 山口市埋文報告10集

〔下関市教育委員会〕

長門国府 長門国府周辺遺跡調査報告Ⅱ

〔防府市教育委員会〕

防府市文化財調査年報Ⅰ

〔阿知須町教育委員会〕

九塚古墳群

〔山口県立山口博物館〕

山口県立山口博物館研究報告第6号

〔山口県文書館〕

山口県文書館研究紀要第7号

山口県内所在史料目録第8集

〔秋吉台科学博物館〕

秋吉台科学博物館報告第15号

〔下関市立大学〕

下関市立大学論集(第23巻2~3号・第24巻1号)

- 〔広島県教育委員会〕
神部御領遺跡
下山遺跡群発掘調査報告
恵下遺跡発掘調査概報
荒谷土居屋跡発掘調査概報
大宮遺跡第3次発掘調査概報
下本谷遺跡発掘調査概報
上山手磨寺発掘調査概報（2）
安芸郡分尼寺跡—第3次調査概報—
広島城外郭跡発掘調査概報

〔広島市公文書館〕
大林村役場文書目録 広島市公文書館所蔵資料目録第2集
広島公文書館紀要第3号

〔宮島町立宮島歴史民俗資料館〕
宮島歴史民俗資料館年報卷2

〔広島県草戸千軒町遺跡調査研究所〕
草戸千軒町遺跡—第24～26次発掘調査概報—
尾道中世遺跡発掘調査報告

〔広島大学文学部〕
広島大学文学部帝釈峠遺跡群発掘調査室年報
大塚古墳群発掘調査報告書

〔津山市教育委員会〕
美作國分寺跡発掘調査報告

〔岡山県立博物館〕
研究報告2
館藏品目録〔I〕

〔市立津山郷土館〕
津山における心学史料（下）

〔倉敷考古館〕
倉敷考古館研究集報第15号

〔鳥取県教育委員会〕
朝日川河川改修工事に伴うタチヨウ遺跡発掘調査報告書I

〔鳥取県立博物館〕
鳥取県立博物館年報一昭和54年度—

〔島根県立八雲立石風土記の丘資料館〕
山陰の國府と律令時代
古代への招待

〔玉湯町立出雲玉作資料館〕
玉湯町立出雲玉作資料館年報I

〔松江考古学談話会〕
松江考古学第3号

〔瀬戸内海歴史民俗資料館〕
瀬戸内の海事史資料調査報告第2集
瀬戸内海歴史民俗資料館年報第5号

〔徳島県博物館〕
徳島の先覚者漫図錄

〔和歌山県教育委員会〕
山崎山古墳群緊急発掘調査報告書 和歌山県埋文報告I
片山遺跡B地点発掘調査概報
那賀郡岩出町根来寺坊院跡発掘調査概報II
根来寺坊院跡発掘調査概報III
鳴神地区遺跡発掘調査概報III
紀の川用水建設事業に伴なう発掘調査報告書I

〔和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所〕
紀伊風土記の丘年報第7号

〔奈良県立民俗博物館〕
特別テーマ展「農耕儀礼」—御田祭と野神まつり—
奈良県立民俗博物館研究紀要第4号

〔奈良国立文化財研究所・飛鳥資料館〕
奈良山I—平城ニュータウン予定地内遺跡調査概報—
平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報
日本古代の魂尾
奈良国立文化財研究所基準資料Ⅷ—瓦編7—
奈良国立文化財研究所年報1980
高取の仏像

〔帝塚山大学〕
帝塚山大学紀要第16輯

〔尼崎市教育委員会〕
尼崎市東園田遺跡（第1次・第2次調査報告） 尼崎市文化財報告12集

- 〔伊丹市立博物館〕
第11回特別展「ふるさとの産業—酒の文化史ー」
ヒマラヤの人と自然
- 〔豊中市教育委員会〕
史跡大石塚・小石塚古墳
- 〔高麗市教育委員会〕
島上郡歴史発掘調査概要 4
- 〔高麗市立埋蔵文化財調査センター〕
高麗の考古資料
- 〔大阪市立博物館〕
大阪市立博物館研究紀要第12冊
大阪市立博物館報 A619
- 〔財団法人大阪文化財センター〕
大阪府都市計画街路貝塚中央線新設工事予定地内臨浜
・島中・石才近義堂遺跡試掘調査報告書
- 〔関西大学〕
史泉第54号
- 〔京都大学埋蔵文化財研究センター〕
京都大学構内遺跡調査研究年報一昭和54年度一
- 〔同志社大学〕
同志社大学博物館学年報第11号
- 〔龍谷大学〕
重要文化財・龍谷大学正門
龍谷大学構内発掘調査報告書
- 〔滋賀県教育委員会〕
湖南中部流域下水道開通遺跡発掘調査報告書
北陸自動車道開通遺跡発掘調査報告書 V
延暦寺発掘調査報告書 I
国道365号線バイパス工事に伴う埋蔵文化財発掘調査
報告書 I
- 〔草津市教育委員会〕
南山田町共有大般若經調査報告書
- 〔三重県教育委員会〕
昭和48年度県営認場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査
報告
- 〔豊田市教育委員会〕
高橋遺跡第十次発掘調査報告
- 〔豊田市郷土資料館〕
豊田市郷土資料館収蔵品図録 『豊田市郷土資料館報』
告19
- 〔名古屋市博物館〕
東海の古墳時代
常設展「尾張の歴史」展示解説 I
名古屋市博物館研究紀要第3巻
名古屋市博物館年報 A3
- 〔豊橋市美術博物館〕
豊橋市美術博物館年報一昭和54年度一
- 〔名古屋大学文学部考古学研究室〕
Fifth Preliminary Report of African Studies
(Archaeology 2)
- 〔南山大学人類学博物館〕
高藏貝塚 I 人類学博物館紀要第1号
- 〔愛知学院大学〕
愛知学院大学一般教育研究 (第27卷第3~4号・第28
卷第1~2号) 4冊
愛知学院大学語研紀要第5卷第1号
- 〔沼津市教育委員会〕
長井崎遺跡発掘調査報告書 沼津市文化財報告18集
尾上イタウネ遺跡発掘調査概報 沼津市文化財報告
19集
西大曲遺跡発掘調査概報 沼津市文化財報告20集
御幸町遺跡第2次発掘調査概報 沼津市文化財報告
21集
子ノ神・大谷津・山崎 I・丸尾 I 沼津市文化財報告
22集
- 〔沼津市歴史民俗資料館〕
特別展「沼津のあけぼの」—発掘された原始・古代の
郷土—
長浜大川家(大上)文書目録 古文書(2)
沼津市歴史民俗資料館紀要 4
- 〔浜松市教育委員会〕
伊場遺跡遺物編 2 伊場遺跡発掘調査報告書第4冊

- 〔磐田市教育委員会〕
寺谷遺跡第5次発掘調査概報
磐田市以下古墳群第1号墳発掘調査報告
磐田弥生時代遺跡地名表
- 〔静岡市立登呂博物館〕
特別展「はきもの」—生活の中の道具—
- 〔浜松市博物館〕
鏡・劍・玉（第2回特別展）
遠江の民家（第5回企画展「すまいの歴史」図録）
- 〔神岡町教育委員会〕
江馬氏城跡発掘調査要報
- 〔山梨県教育委員会〕
上の平
- 〔福井県教育委員会〕
特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡XII
- 〔九頭郡教育委員会〕
豊原寺跡Ⅰ—草薙院跡第1次発掘調査概報
- 〔富山大学人文学部考古学研究室〕
小矢部市埋蔵文化財分布調査概報1979年度
- 〔神奈川県教育委員会〕
神奈川県埋文報告19
- 〔川崎市教育委員会〕
川崎市文化財調査集録15
黒川東遺跡
- 〔横浜市教育委員会〕
横浜市三殿台考古館収蔵品目録Ⅱ
- 〔神奈川県立博物館〕
紅取遺跡 神奈川県立博物館発掘調査報告書第12号
- 〔横須賀市博物館〕
横須賀市博物館研究報告（人文科学）第23号
横須賀市博物館第26号
- 〔平塚市博物館〕
平塚市博物館年報第4号
- 〔専修大学〕
専修史学第12号
- 〔宮内庁書陵部〕
書陵部紀要第31号
- 〔国立劇場〕
国立劇場所藏芝居版画等図録』
- 〔東京都教育委員会〕
小金井市西之台遺跡B地点 東京都埋文報告7集
- 〔板橋区立郷土資料館〕
板橋区立郷土資料館紀要（創刊号）
武藏野の生いたち 或増露頃地質調査報告書（普及版）
- 〔町田市立博物館〕
成瀬三又遺跡
博物館年報一昭和53年度一
- 〔八王子市郷土資料館〕
石川日記（一・二）2冊 郷土資料館資料シリーズ第
18・19号
- 〔出光美術館〕
出光美術館報第30～33号 4冊
- 〔ブリヂストン美術館〕
ブリヂストン美術館・久留米石橋美術館報28
- 〔東京大学文学部考古学研究室〕
ライトコロ川口遺跡
- 〔法政大学文学部〕
笠間神社境内遺跡
- 〔国学院大学博物館学研究室〕
国学院大学博物館学紀要第4輯
- 〔日本大学〕
史叢第25・26号 2冊
- 〔立正大学〕
立正史学第47号
- 〔財團法人東京都埋蔵文化財センター〕
多摩ニュータウン遺跡調査報告Ⅸ

多摩ニュータウン遺跡調査概報—昭和54年度—

〔千葉県立房総風土記の丘〕
企画展「房総の古鏡」展示図録 68

〔埼玉県教育委員会〕
埼玉稻荷山古墳

〔埼玉県立歴史資料館〕
菅谷館跡環境整備基本構想
埼玉県立歴史資料館報第1号
埼玉県立歴史資料館研究記要第2号

〔埼玉県立博物館〕
埼玉県立博物館紀要 6
埼玉県立博物館展示解説—歴史 I—
埼玉の指定文化財展

〔埼玉県立さきたま資料館〕
資料館報 No.10
埼玉県指定史跡八幡山古墳石室復原報告書

〔浦和市立郷土博物館〕
浦和市立郷土博物館研究調査報告書第7集

〔浦和市遺跡調査会〕
後原遺跡発掘調査報告書 浦和市遺跡調査会報告10集
三室遺跡発掘調査報告書 浦和市遺跡調査会報告11集
別所遺跡発掘調査報告書 浦和市遺跡調査会報告12集

〔郡馬県立歴史博物館〕
郡馬県立歴史博物館常設展示解説
郡馬の古鏡
開館記念展「郡馬のはにわ」
第3回企画展「刀剣展」
第6回企画展「円空」
第7回企画展「上州人形芝居」
郡馬県立歴史博物館紀要第1号
新発見の考古資料—発掘された古代の水田—

〔栃木県教育委員会〕
下野國府跡 栃木県埋文報告35集

〔栃木県立郷土資料館〕
栃木県の作習俗 栃木県立郷土資料館郷土資料調査
報告第5集

〔茨城県歴史館〕

下總結城水野家・水野家中吉田家小堀家平井家文書目
録 史料目録 8
茨城県歴史館和書目録 2

〔いわき市教育委員会〕
八幡台遺跡 いわき市埋文報告第5冊

〔須賀川市歴史民俗資料館〕
亞歐堂田善殿

〔仙台市教育委員会〕
経ヶ峰 仙台市文化財報告22集

〔仙台市博物館〕
仙台市博物館年報第7号

〔東北歴史資料館〕
名取の里—熊野信仰と一切経—
名取新宮寺一切経調査報告書

〔市立旭川郷土博物館〕
市立旭川郷土博物館所蔵品目録

〔鶴巣市立郷土博物館〕
鶴巣市立郷土博物館紀要第7輯

〔斜里町立知床博物館〕
知床博物館研究報告第2集

〔朝日新聞社〕
新アサヒカメラ教室(1~6) 6冊 朝日新聞社
上田正昭他著 古代史への視点 朝日新聞社
源野精一郎編 南北朝遺文一九州編・第1巻— 東京
堂出版
梅棹忠夫他著 世界の民族(社会と文化・民族と伝
承) 2冊 朝日新聞社
竹内理三編 荘園分布図(上・下巻) 2冊 吉川弘文
館
佐藤進一 古文書学入門 法政大学出版局
邪馬台国への道—古代日本のナゾとロマン—

〔在日本朝鮮人科学者協会〕
朝鮮学术通報第16卷第3・4号

〔講談社〕
学習日本史図鑑 1

- 〔新潮社〕
新潮古代美術館11
- 〔文教出版〕
筑前国福岡区地誌
- 〔大韓民国文化公報部・海外公報館〕
韓國の拓本—古代彫刻の美一
- 〔韓国国立中央博物館〕
美術資料（第24~27号）4冊
- 松菊里 I (本文・図版) 2冊 国立博物館古墳調査報告
告第十一冊
- 中島 I 国立博物館古墳調査報告第十二冊
- 〔釜山市立博物館〕
伝承工芸展作品図録
- 〔釜山大学校博物館〕
金谷洞栗里貝塚—岩蔵住居遺跡—
- 〔忠南大学校百濟研究所〕
百濟研究10号
- 〔故宮博物院〕
故宮博物院院刊（1979年第4期・1980年第1・6・7期）4冊
- 〔井上忠氏〕
秋月藩政開領史料調査報告書（地方文書）
井上忠 木下逸雲の書翰—日田広瀬家所蔵—
- 〔道藤裕次氏〕
道藤家系譜（完）
春山育次郎 松永花道
- 〔小池史哲氏〕
桑胸下遺跡発掘調査報告書
- 〔末信源藏氏〕
和白のあゆみ
- 〔高田茂広氏〕
北崎小学校百年誌
- 〔武野要子氏〕
武野要子 博多の豪商 葦畠房
- 〔筑紫豊氏〕
日本絵巻物全集 9
- 〔長沼元氏〕
長沼元 塙原あれこれ
- 〔橋崎佳枝子氏〕
向慶集 文献出版
- 〔浜田昌治氏〕
福岡市海の中道遺跡出土鐵鏟庄庭土器基礎資料
- 〔秀村選三氏〕
西南地域史研究第4輯
- 〔三松高明氏〕
三松莊一 仙臣和尚—生活と藝術—
- 〔安川巖氏〕
別府郷土史研究第1集
博多の名物雜誌うわさ（第46巻第4号～第47巻第3号）
12冊
- 〔山崎純男氏〕
洲崎遺跡
- 〔古田武彦氏〕
市民の古代 古田武彦とともに第2集

FUKUOKA CITY MUSEUM OF
HISTORICAL MATERIALS

Annual report No.9

1981

福岡市立歴史資料館年報
昭和55年度(1980)

昭和56年(1981)
6月1日発行

福岡市立歴史資料館

印刷
浦川島弘文社

●入場料 無料

●休館日 月曜

12月28日～31日

1月1日～3日

●開館時間 午前9時～5時(入館4時30分)

●場所 福岡市中央区天神1丁目15番30号

TEL 741-5488
FAX 810